

『感謝の誕生日会』

ファンクラブイベント2008。無事に終了！お越し下さった皆さん、本当にありがとう！

今回はみんなをびっくりさせたいのと、何よりも「ありがとう」の気持ちを伝えるために、私が用意したサプライズプレゼントがありました。ピアノ弾き語りによる「NO FEAR/あいすること」です。9ヶ月前に衝動的に買ったエレピを、ひとりでコツコツ練習してきました。買ったはいいけど、ペダルっていつ踏めばいいんですか？…そんな超ド素人の私でしたが、なかなか音が鳴らなくて苦労したギターとは違って、とりあえず押せば鳴る鍵盤は楽しくておもしろくて、練習するというよりは子供が遊んでいるような感覚で毎日触っているうちに上達していきました。でも弾けるんだけど、自分が弾いているコードが何なのか全然わかってなくて、譜面も読めないし、指の動きのみで記憶しているので、いちど間違えるとそのちょっと前から弾き直さないとわからないというかなり変わった体質に成長。どきどきものの発表会となりました。

いちばんどきどきしていたのはスタッフだったかもしれません。「ピアノ弾き語りに挑戦したい」と言った私も、リハーサルまで誰にも聴かせたことがありませんでした。本当に弾けるのか！？という半信半疑のみんなは、私がピアノに向かうと私以上に緊張していたようです。

本番では、その日によって上手に弾けたこともあれば、間違えてしまったこともありました。本当は完璧にしたかったのになーという気持ちもありますが、私にとっては、とにかく挑戦することに意味があった企画。いつも感謝してるんだよって気持ちを、歌うことで表現したいのに、私ひとりでは伝えられない。楽器が弾けないもどかしさをずっと抱えていました。だから今回はどうしても、ひとりで成し遂げたかったのです。

そしてこの挑戦は、どんなことでも「やりたいと思ったときに、できるときなんだ」ってことを実感する良い機会になりました。「遅い」ってことはきつと無い。好きなら、やってみたいなら、恐れずに手をのばしてみるべきだ。そんな想いも、みんなに伝わればと思いました。

ライブ定番曲となった「ポケットを空にして」をアンコールで歌ったとき、また素敵な歌声をみんなが聴かせてくれて、最高にしあわせでした。あのラララを聴くと、私はいつだって、生まれてきたこと素直に感謝したい気持ちになるのです。前に会ったときよりも、もっと素敵な自分になっていた。そんな目標を胸に私はこれからがんばります。次に会うとき、お互いにもっともっと成長して輝いていたいですね。今回参加できなかったという皆さんも、ぜひ今度の機会に会えることを楽しみにしています。

いつもありがとう。そして、誕生日を祝ってくれてありがとう。

100万回言っても足りないくらいの感謝を込めて。 坂本真綾

<P.S.>

東京最終日のステージで桜吹雪とケーキのサプライズに泣かされた私。でも実はあの後、まだ終わってなかったスタッフからのサプライズ。楽屋へ戻ってくると、そこに大きな鉢植えのお花。しかもなんとスタッフとバンドのひとりひとりからメッセージカードがついていたのです。「ツアー楽しかった」「また一緒にやろう」「これからもいっぱい歌って」などなど、みんなのことばが胸に沁みて、ステージよりもまたさらに号泣。くそー！してやられた！

何かをひとりで成し遂げたいとピアノ弾き語りをしたんだけどね、やっぱり私はひとりじゃなんにもできません。みんながいるから、私はここにいられるのです！今回も支えてくれたスタッフとバンドに、愛！！ありがとう！！私は幸せ者です。

* maaya *